

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告とする。 公告掲載URL http://www.shindengen.co.jp/ir/ (ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)

【お知らせ】

- 株式に関する住所変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増のお問合せについて

【証券会社等に口座を開設されている株主様】

口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

【証券会社等に口座を開設されていない株主様】

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に特別口座が開設されております。

下記フリーダイヤルにお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

0120-232-711 (三菱UFJ信託銀行証券代行部)
0120-094-777 (三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) } 通話料無料
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 配当金の支払通知書について

租税特別措置法の2008年改正により、お支払する配当金について、配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」をお送りしております。

【配当金を「配当金領収証」、または「口座振込」にてお受取りになられる株主様】

「支払通知書」を兼ねる「配当金計算書」を同封しております。株主様が確定申告をする際の添付資料としてご利用いただけます。

【配当金を株式数比例配分方式にてお受取りになられる株主様】

口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

- 配当金の口座振込のご指定について

口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

- 未受領の配当金について

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

新電元工業株式会社

〒100-0004

東京都千代田区大手町二丁目2番1号(新大手町ビル)

電話 03-3279-4431(代表)

<http://www.shindengen.co.jp/>



Shindengen Electric Manufacturing Co., Ltd.

第91期報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日



証券コード：6844

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第91期（平成25年度）の報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

◇当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和を背景とした円安などにより輸出企業を中心に収益改善が進んだほか、年度末には消費税増税前の駆け込み需要もあり個人消費が活発化いたしました。世界経済においては、米国では緩やかに回復基調を辿った一方、成長が鈍化している新興国においては先行きに不透明感が残りました。

当社グループを取り巻く環境は、再生可能エネルギーへの投資が活発化したことにより新エネルギー分野が伸長したほか、モビリティ分野においては二輪車、四輪車向けともに好調を持続いたしました。

このようななか、当連結会計年度の売上高は1,045億64百万円（前期比18.2%増）となりました。利益面においては、増収効果や円安などにより営業利益が113億13百万円（前期比239.4%増）、経常利益は109億60百万円（前期比230.4%増）、当期純利益は法人税等調整額を△45億30百万円計上したことなどにより121億29百万円（前期比202.5%増）となりました。

なお、株主の皆様への期末配当金につきましては、これらを総合的に勘案し、1株につき10円とさせていただきます。

◇次期の見通し

次期の連結業績見通しにつきましては、モビリティや新エネルギー市場は引き続き堅調に推移すると見ており売上高は1,090億円（前期比4.2%増）と予想しております。利益面

においては、当期の円安進行による大幅な収益の押し上げ効果が見込めないことに加え、次期は持続的成長と競争力強化に向け積極的な設備投資を計画していることなどにより営業利益は73億円（前期比35.5%減）、経常利益は65億円（前期比40.7%減）としております。当期純利益は当期に繰延税金資産計上に伴う法人税等調整額を△45億30百万円計上したことで大幅な増益となったことから、次期は当期を下回る45億円（前期比62.9%減）を見込んでおります。

上記のとおり、次期は減益を見込んでいるものの、現在進行中である第13次中期経営計画における当初計画値を上回る利益水準を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月



新電元工業株式会社

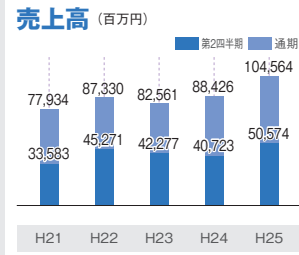
代表取締役社長 寺川 雅人

◇当期のポイント

- POINT-1** モビリティ・新エネルギー市場が総じて好調、各セグメント押しなべて増収
- POINT-2** 円安進行により、利益拡大
- POINT-3** 繰延税金資産計上に伴い、当期純利益大幅増
- POINT-4** 各段階損益で過去最高益を更新

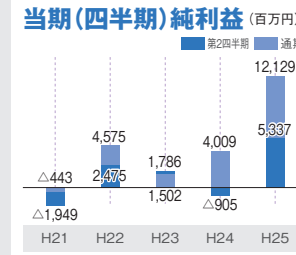
◇連結業績の推移

		第89期 (平成23年度)	第90期 (平成24年度)	第91期 (平成25年度)
売上高	(百万円)	82,561	88,426	104,564
営業利益	(百万円)	5,023	3,333	11,313
経常利益	(百万円)	3,699	3,317	10,960
当期純利益	(百万円)	1,502	4,009	12,129
1株当たり当期純利益	(円)	13.73	38.06	117.71
総資産	(百万円)	111,920	118,700	132,823
純資産	(百万円)	34,541	39,746	49,662
1株当たり純資産	(円)	322.20	372.73	481.97



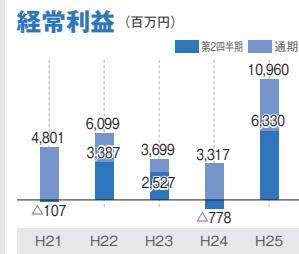
売上高 **1,045億64百万円** 前期比 161億37百万円増 (+18.2%)

売上高は前期比161億37百万円増の1,045億64百万円となりました。



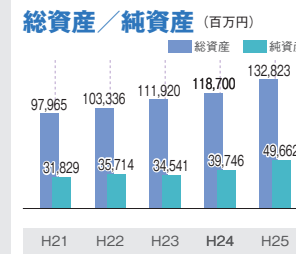
当期純利益 **121億29百万円** 前期比 81億19百万円増 (+202.5%)

当期純利益は前期比81億19百万円増の121億29百万円となりました。



経常利益 **109億60百万円** 前期比 76億42百万円増 (+230.4%)

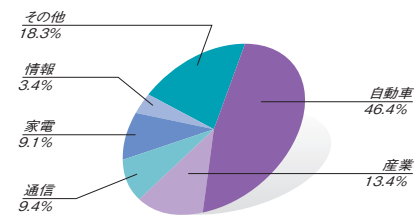
経常利益は前期比76億42百万円増の109億60百万円となりました。



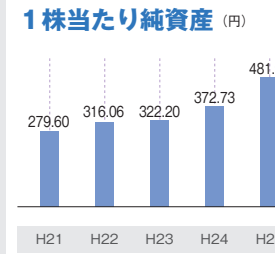
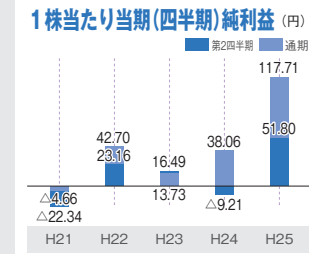
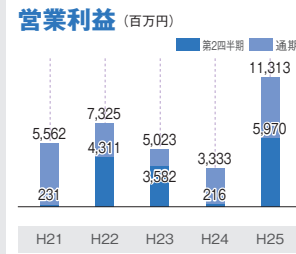
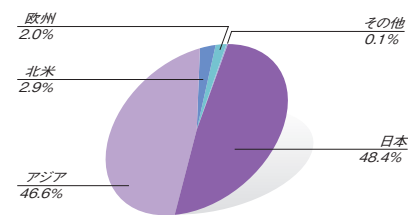
総資産 **1,328億23百万円** 前期末比 141億22百万円増
 純資産 **496億62百万円** 前期末比 99億16百万円増

総資産については、主に受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、前期比141億22百万円増の1,328億23百万円となりました。

市場別売上構成比率



仕向地別売上比率

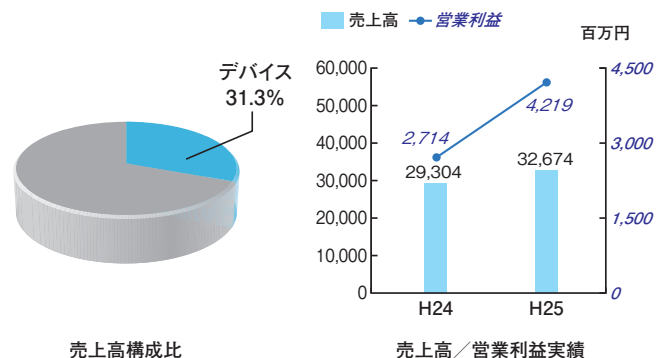


デバイス事業

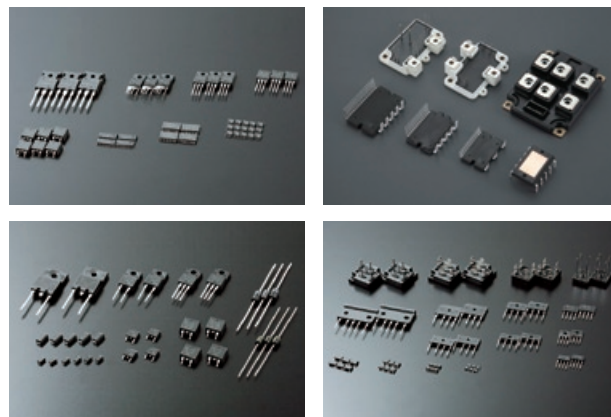
概況（平成25年度）

デバイス事業の売上高は326億74百万円（前期比11.5%増）、営業利益は42億19百万円（前期比55.5%増）となりました。

自動車市場においては、日本や北米をはじめとしたグローバルでの販売台数の増加や、ハイブリッド車をはじめとしたエコカーがさらに拡大したことで、小型面実装ダイオードが好調に推移いたしました。加えて、産業機器市場においては、企業の設備投資が緩やかに上昇局面に転じたことで大容量のダイオードを中心に需要が拡大し、増収、増益となりました。



主要製品



- ダイオード各種
 - ・一般整流ダイオード
 - ・ブリッジダイオード
 - ・高速整流ダイオード
 - ・ツェナーダイオード
- サージ防護素子
- SIDAC
- MOSFET
- IC各種
 - ・高耐圧パワーIC
 - ・省電力型パワーIC
 - ・DC-DCコンバータIC
 - ・モータドライバIC
- パワーモジュール

主な用途

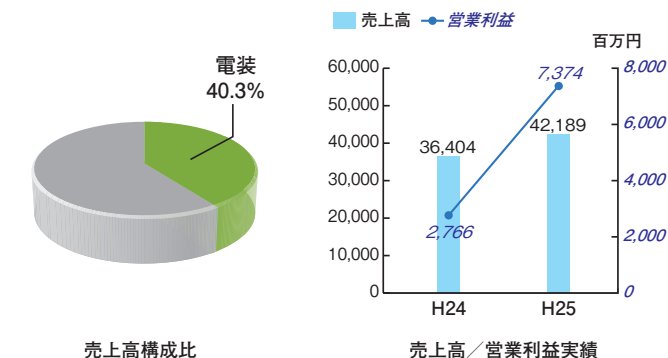
自動車、産業機器
デジタル家電、白物家電
通信機器、OA機器など

電装事業

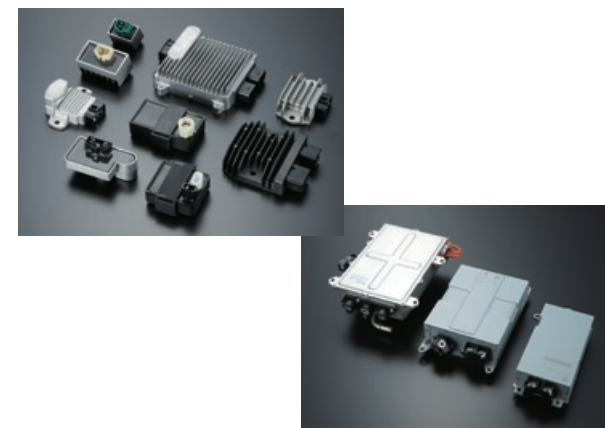
概況（平成25年度）

電装事業の売上高は421億89百万円（前期比15.9%増）、営業利益は73億74百万円（前期比166.6%増）となりました。

二輪車市場は、タイなど一部地域が弱含みで推移したものの、主力のインドネシアでは販売台数が大幅に増加し、レギュレータが好調だったほか、排ガス規制への対応策としてFI（電子制御燃料噴射）システムへの移行が進み、ECU（電子制御ユニット）が増加したことで増収となりました。利益面においてはECUの本格生産による量産効果や対米ドルを中心に円安で推移したことに加え、タイ洪水に伴うロスが解消されたことなどにより、大幅増益となりました。



主要製品



- 二輪車用電装品
 - ・レギュレータ／レクティブファイア
 - ・CDI
 - ・FIシステム向けECU
- 四輪車用電装品
 - ・DC/DCコンバータ
 - ・車載用充電器

主な用途

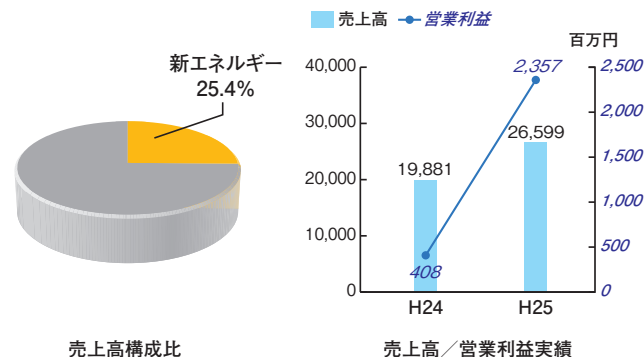
二輪車、自動車、船外機

新エネルギー事業

概況（平成25年度）

新エネルギー事業の売上高は265億99百万円（前期比33.8%増）、営業利益は23億57百万円（前期比477.1%増）となりました。

通信市場においては、電源需要が弱含みで推移したものの、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を背景に太陽光発電向けパワーコンディショナが大幅に拡大し、増収、増益となりました。



主要製品



パワーコンディショナ
 通信局用整流器
 移動体基地局用電源
 発電機用インバータ
 コージェネレーション制御ユニット
 EV充電器
 情報・産業用スイッチング電源
 LED照明用電源

主な用途

太陽光発電システム
 蓄電システム、通信局舎
 移動体基地局
 その他通信機器、汎用エンジン
 ガスコージェネレーション
 EV用充電器、ストレージ装置
 LED照明

◇ その他

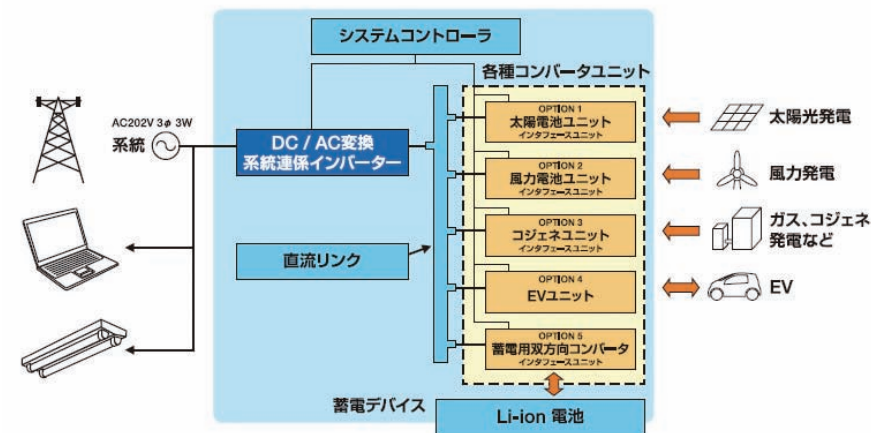
売上高は31億円（前期比9.3%増）、営業利益は56百万円（前期比94.9%増）となりました。

※当期よりセグメント区分を変更しております。
 前連結会計年度の数値については、変更後の区分に組替えて記載しております。

SOLGRID PLUS

太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの普及や災害時の非常用電源、電力のピークシフト対策などを背景にエネルギーマネジメントの重要性が増しております。

当社は、従来からこうした成長分野への取り組みを強化しており、今回、リチウムイオン電池を搭載し、様々な発電ソースに対応するスマートエネルギーマネジメントシステム“SOLGRID PLUS”を開発いたしました。



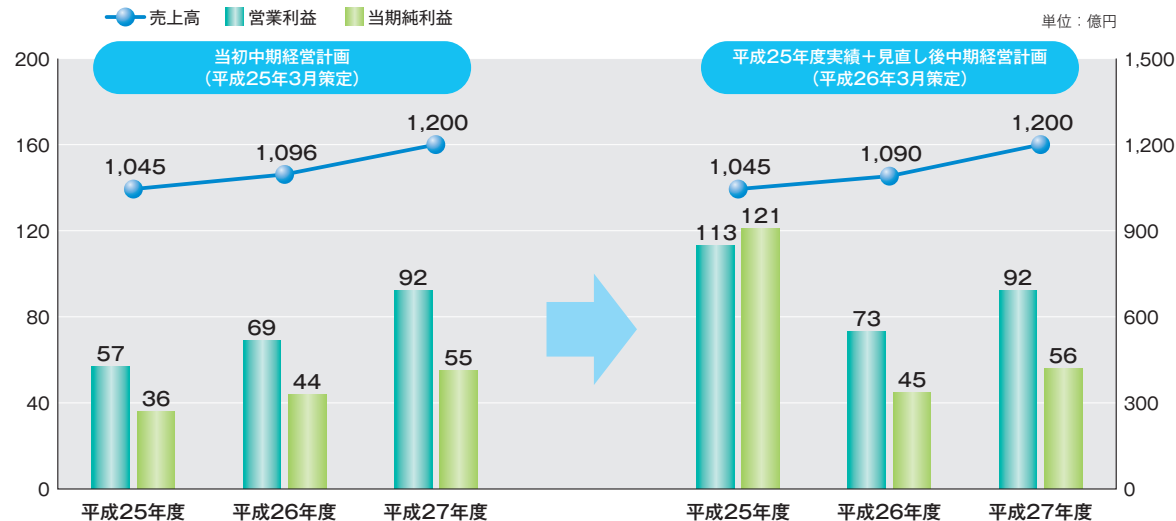
10kWシステム（右側：増設架）

- 太陽光やEV、コージェネなど様々な発電ソースに対応したコンバータを用意
- 機能別コンバータのユニット化により、最適なシステム構成が可能

第13次中期経営計画2年目への取り組み

平成25年に策定した平成27年度までの3ヵ年の「第13次中期経営計画」は、初年度である平成25年度において各段階損益で過去最高益を更新いたしました。

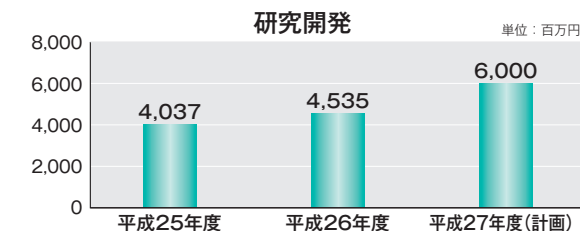
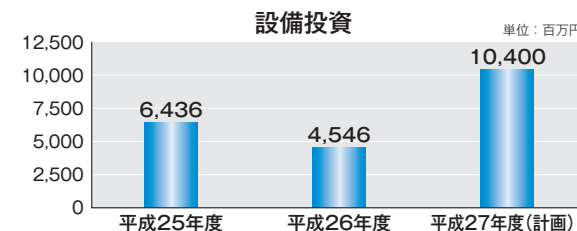
初年度の実績や事業環境等の変化に伴い、目標数値を再設定するとともに、2年目となる平成26年度の年次計画を策定いたしました。



平成26年度年次計画

単位: 億円

	平成26年度 (計画)		
	上期	下期	通期
売上高	515	575	1,090
営業利益	21	52	73
経常利益	18	47	65
当期純利益	13	32	45



<平成26年度計画>

当期は円安進行による大幅な収益の押し上げ効果が見込めないことに加え、成長分野への積極的な設備投資や研究開発を計画していることなどにより、減益を見込んでおりますが、中期経営計画に沿った戦略を着実に実行しており、当初計画を上回る利益水準を見込んでおります。

平成26年度年次方針

高収益を“持続”させる体制作り

～恒常的に利益水準を維持できる新事業への転換～

事業構造転換

- モビリティや新エネルギー分野にシフト
- パワーモジュール事業の拡大
- 新規事業を伸ばす一方、不採算事業の構造転換も引続き実行
- 事業の軸足を国内から海外へシフト

競争力強化

- 技術力 (シナジーの発揮)
- 高付加価値化
- 更なる品質レベルへの挑戦

海外進攻

- 設計、資材のグローバル化

ICT活用

- コストマネジメントの強化

半導体、電源回路、ソフト、磁性体技術が当社の強みです。これらキーテクノロジーを駆使し、スマートエネルギー市場やエレクトロニクス化が進むモビリティ市場など成長分野を中心に高い収益性と持続的成長に繋げてまいります。

平成25年 4月

IR

第13次中期経営計画策定

5月

IR

平成25年3月期 決算発表

6月

株主総会

第89回定時株主総会

お知らせ

全国危険物安全協会理事長賞を受賞

8月

お知らせ

新電元グループの紛争鉱物への取り組みについて

新製品情報

産業用モータ駆動回路向けパワーモジュール開発

IR

平成26年3月期 第1四半期決算

10月

展示会

「第1回関西スマートコミュニティEXPO」出展

新製品情報

太陽光発電向けパワーコンディショナ “SOLGRIDシリーズ”
三相9.9kW 「PVS9R9T200」販売開始

新製品情報

太陽光発電向けパワーコンディショナ “SOLGRIDシリーズ”
屋外型三相100kW 「PVS100T200A-DN-SA-S」販売開始

11月

IR

平成26年3月期 第2四半期決算

お知らせ

陸上競技部 東日本実業団対抗駅伝競走大会に出場

平成26年 2月

IR

平成26年3月期 第3四半期決算

展示会

「第4回国際スマートグリッドEXPO」出展

新製品情報

EV用急速充電スタンド「SDQC」シリーズ販売開始

新製品情報

EV/PHV対応普通充電スタンド「PM-CS」シリーズ販売開始

◆お知らせ

全国危険物安全協会理事長賞を受賞

昨年6月に開催された一般財団法人全国危険物安全協会主催の平成25年度全国危険物安全大会において安全管理並びに災害防止活動を積極的に推進した功績が認められ、全国危険物安全協会理事長賞を受賞しました。

◆新製品

産業用モータ駆動回路向けパワーモジュール開発

環境意識の高まりなどを背景にインバータ制御が一般化している産業用モータは、さらなる省エネ推進に向けそれらを制御する電源においても今まで以上に小型・高効率化の要求が高まっています。当社では、こうしたニーズに対し、従来から定評のあるダイオードやIGBT等のパワー素子を独自の実装技術によって1パッケージ化し、電源の小型・高効率化を実現するコンバータ・ブレーキ用パワーモジュールを開発いたしました。



◆お知らせ

陸上競技部 第54回東日本実業団対抗駅伝競走大会に出場

毎年、元旦に行われる通称『ニューイヤー駅伝』の予選を兼ねて出場しました。残念ながら出場権を得られなかったものの、選手一人ひとりが強化に努めるとともに、春には新人を迎えるなどチーム力の底上げを図っています。当社陸上競技部へのご支援、ご声援よろしく申し上げます。

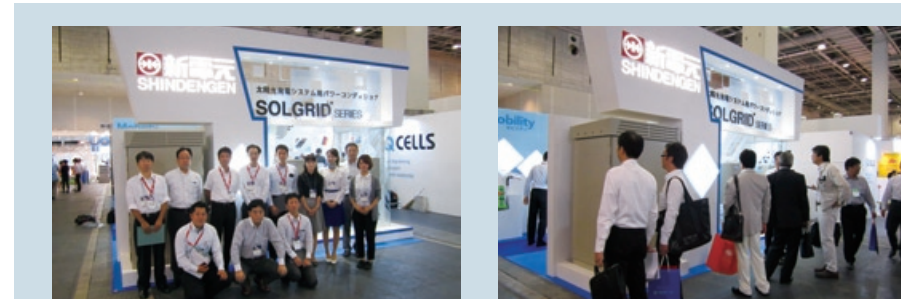


◇「第1回 関西スマートコミュニティ EXPO」
「第4回 国際スマートグリッド EXPO」に出展 !!

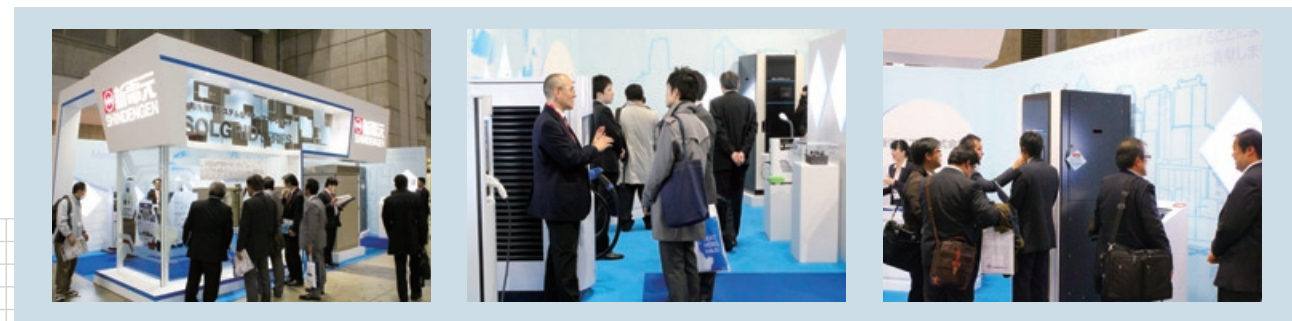
昨年度は西日本において初めて大規模なスマートエネルギー関連の展示会が開催されることになり、東京で開催される国際スマートグリッドEXPOに加え、大阪の展示会にも出展いたしました。

「モビリティ市場・新エネルギー市場を通じて、スマートグリッド社会に貢献する。」をコンセプトとして定め、両展示会ともにパワーコンディショナ及び充電器を中心とした製品を出展し、多くの方にご来場いただきました。特に東京で行われた国際スマートグリッドEXPOでは、パワーコンディショナの“新アフターサービスプラン”及び新製品である“スマートエネルギーマネジメントシステム (SOLGRID PLUS)”を初出展し、好評を博しました。

今後も継続的な展示会への出展を通じて、モビリティ市場・新エネルギー市場への当社製品の販売を強化してまいります。



第1回 関西スマートコミュニティ EXPO (場所：インテックス大阪 会期：2013年10月2日～4日)



第4回 国際スマートグリッド EXPO (場所：東京ビッグサイト 会期：2014年2月26日～28日)

◇会社概要 (平成26年3月31日)

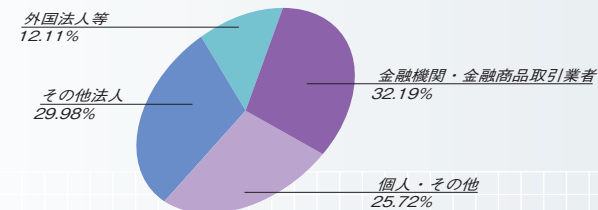
商号 新電元工業株式会社
 本社所在地 東京都千代田区大手町二丁目2番1号
 設立年月日 昭和24年8月16日
 資本金 17,823百万円
 従業員数 連結：5,255名 単体：951名
 主要事業所 大阪支店・名古屋支店・飯能工場

◇株式の状況 (平成26年3月31日)

発行可能株式総数 310,000,000株
 発行済株式総数 103,388,848株
 株主数 8,888名
 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
本田技研工業株式会社	13,363千株	12.92%
中央不動産株式会社	9,800	9.47%
株式会社損害保険ジャパン	3,689	3.56%
資産管理サービス信託銀行株式会社(みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口)	3,568	3.45%
朝日生命保険相互会社	3,255	3.14%
新電元工業協会の持株会	2,193	2.12%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,031	1.96%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,980	1.91%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,953	1.88%
株式会社埼玉りそな銀行	1,857	1.79%

所有者別株式分布状況



本書における、将来の見通しに関する記載につきましては、現時点で得られた情報に基づいており、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

◇グループ企業一覧 (平成26年4月1日現在)

(国内)

- 株式会社秋田新電元
- 株式会社東根新電元
- 株式会社岡部新電元
- 新電元デバイス販売株式会社
- 新電元スリーイー株式会社
- 新電元熊本テクノリサーチ株式会社
- 新電元エンタープライズ株式会社
- 株式会社新電元ロジステック
- 新電元メカトロニクス株式会社

(海外)

- Lumphun Shindengen Co., Ltd.
- Shindengen Philippines Corp.
- PT.Shindengen Indonesia
- Shindengen Vietnam Co., Ltd.
- 広州新電元電器有限公司
- Shindengen (Thailand) Co., Ltd.
- Shindengen America, Inc.
- 新電元(香港)有限公司
- Shindengen UK Ltd.
- Shindengen Singapore PTE Ltd.
- 新電元(上海)電器有限公司
- Shindengen India Pvt Ltd.
- Napino Auto & Electronics Ltd.